

タイトル	発明者
フィブリン糊と吸収性メッシュを用いた腸管欠損部閉鎖法	医学部 医学科 窪田 正幸
分野	<input type="checkbox"/> IT <input type="checkbox"/> ナノ <input checked="" type="checkbox"/> バイオ <input type="checkbox"/> 環境・エネルギー <input type="checkbox"/> その他

概要

腸管欠損部をフィブリン糊の A 液をしみこませた吸収性メッシュで覆い、その上からフィブリン糊を散布し欠損部閉鎖する。それぞれ単独では、欠損部を完全に被覆する事はできないが、両者を用いる事によりメッシュとフィブリン糊の親和性がよいため強固な逢着と損傷部の完全閉鎖が行なわれる。吸収性のメッシュが吸収される頃には組織再生が完成している。縫合閉鎖と異なり従前と同様の管腔が保たれ、狭窄起点が発生しにくく通過も極めてスムーズで従来法よりの早期の回復が行なわれる。



社会還元の可能性と応用分野

